

鶴見駅
周辺

点字ブロックを調査



市・区に改善求め、さっそく改修始まる

1月21日、鶴見区の視覚障害者福祉協会(新井豊三会長)からの要望を受けて、鶴見駅周辺の点字ブロックの現状を調査しました。視覚障害者の方々、横浜市と区の担当者に立ち会ってもらい、はたの君枝元参議院議員も同行しました。

全盲の男性は、混雑時に通行人と接触するおそれがある所や、歩道橋の手すりに誘導されにくい所など、障害がないと気づかないような点を指摘。

同行した市職員はできるところから改善すると約束。健常者でもつまづきそうな大きな穴ぼこの補修工事などが、さっそくその場で行われました。

誰もが安心して利用できる駅づくりのために、これからもみなさんと力を合わせてがんばります。



普段右手でもっている白杖を左手に持ち替え、右手で手すりをつかまないとはいけません。

鶴見駅東口駅前広場から改札のある2階への点字ブロックの動線は、上から降りてくる利用者とぶつかってしまいます。



さっそく
鶴見駅周辺の
点字ブロックの
改修工事が
始まりました。



古谷やすひこ

ふる や

日本共産党横浜市議会議員

●事務所：〒230-0037 横浜市鶴見区潮田町2-120-2
●電話：045-504-5121 ●FAX：045-504-7331

●E-mail：y-furu3941@triton.ocn.ne.jp

あなたの声をお寄せ下さい。



日本共産党
JAPANESE COMMUNIST PARTY

市政報告写真NEWS 2013年早春号